
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年3月19日号

©2009年1～2月における中国の大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年1～2月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内大豆価格は安定に向かう

国が連続して買上政策を発動したことから、2009年1月の国産大豆価格は安定しつつも上昇し、2月は基本的に安定を維持した。東北地区の搾油用大豆買上価格は1トン当たり3,421円で前月並み、前年同月比では24.4%安となった。ただし、大豆の輸入コストが低下したことから、国内大豆油及び大豆粕価格の下げ幅は、比較的大きいものとなった。2月の山東地区の四級大豆油の工場出荷価格は1トン当たり6,756元、前月比5.3%安・前年同月比44.9%安となった。また、同地区における中等大豆粕の工場出荷価格は2,930円で、前月比5.1%安・前年同月比10.0%安となった。

2 国際大豆価格は小幅安

2009年1月の国際大豆及び大豆製品価格の変動は大きくはなかったものの、南米で天候が回復したこと、市場が2009年の米国大豆播種面積増加と世界の大豆需給緩和を予測していることなどの影響から、2月中旬以降、国際大豆及び大豆製品の価格は再び下落した。2月の米国シカゴ取引所（CBOE）の大豆平均価格は1トン当たり338.2ドル、前月比7.3%安・前年同月比33.4%安となった。大豆油は714.4ドル、前月比6.7%安・前年同月比46.2%安で、大豆粕は310.5ドル、前月比6.3%安・前年同月比21.5%安となった。

3 国内価格は国際価格を大幅に上回る

2009年2月のメキシコ湾における大豆離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり350.4ドルで、これを2,380元と換算すると、山東地区の国産大豆仕入価格に比べ1,200元前後低かった。また、山東地区の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は1トン当たり3,512元で、当地の国産大豆仕入価格に比べ100元前後低い水準であった。

4 2008年の中国の大豆輸入は大幅増、大豆油輸入は減

2008年の中国の大豆輸入量は、前年比20.5%増の3,743.6万トンとなった。大豆油輸入量は8.4%増の258.6万トンであった。また、大豆粕輸入量は110.0%増の22.0万トンとなった。